

＼ 江里山を語ろう ／

だんだんだより



“だんだん”になった田んぼが広がる
みなさんのふるさと“江里山”について
少しお話しませんか

これまでの江里山について
これからの江里山について
“団らん”しながら色々教えてください

そのきっかけづくりとして
みなさんとのコミュニケーション誌
「だんだんだより」を発行しました

みなさんと一つ（団）になって
江里山のことを考えていきたいので
よろしくお願いします

＼ 江里山を語ろう ／

だんだんだより



“だんだん”が広がる江里山

Instagram

Instagramで情報発信中

【ユーザーネーム eriyama_tanada】

“江里山”について、より多くの方に
知っていただきたいという思いから、
Instagramを活用して情報を発信
しています。Instagramのアカウ



ERIYAMA.TANADA

ントをお持ちであれば、どなたでもご覧
いただけます。

◀こちらを読み取っていただくとアクセスできます

2022.8

発行
棚田げんきスタッフ
(小城市地域おこし協力隊)



げんきの種まき

(棚田げんきスタッフ活動報告)



2022.6~
6月からピーマンやナスを収穫しています。毎回コンテナをいっぱいにして帰っています。



2022.6.26
2022.7.3
市道や林道の草刈り作業に参加しました。暑い中、早朝からお昼過ぎまでの作業、みなさんお疲れさまでした。今回、ブロワーを初めて使いましたが、意外と重いですね！良い経験になりました。



2022.7
ごま畑の草刈りを経験しましたが、ごまと雑草の見分けが難しく、作業に手間取りました。ごまが育つ様子を見たのも、もちろん初めてです。どのように成長しているのか楽しみです。

2022.7

田んぼのヒエ取りに3日もかかってしまいました。作業中、みなさんが声をかけてくださり、うれしかったです。



農村プロデューサー養成講座

を受講しています

「農村プロデューサー」とは、

地域への愛着と共感を持ち、地域住民の思いを汲み取りながら、地域の将来像やそこで暮らす人々の希望の実現に向けてサポートする人材のことです。

私が地域おこし協力隊として目指している姿と一致したので、受講を希望しました。これからの江里山について、みなさんと一緒に考えていく際に、学んだことを活かせればと思っています。

このようなことを学びます

- ・農山漁村地域における、地域づくりの取り組み事例
 - ・地域や地域住民に関する現状把握や分析手法
 - ・地域づくりの実践に向けた、計画の立て方等の基礎知識
- …など

江里山の空に想う

あがんしたか / こがんしたか
江里山のこれからを考えるヒントになる(かもしれない)情報やアイデアをお届けします。

■ やさいバス と おてつたび ■

今回は、農村プロデューサー養成講座で取り上げられていた、興味深い取り組みをご紹介します。

やさいバスとは？



配送エリア内に野菜の集荷場(バス停)を設けて、その拠点を冷蔵トラックが巡回するというサービスです。最寄りの拠点到着する時刻に合わせて、生産者は野菜を持ち込み、購入者は野菜を受け取る事が可能です。関東圏を中心にサービスが展開されています。

詳細はこちら▼



やさいバス
ホームページ

おてつたびとは？



人手不足で困っている地域と、地域で働きたい人を繋ぐお仕事マッチングサービスです。地域の困りごとをお手伝いすることにより、報酬を得ながら旅行ができます。佐賀県内でも、お米や野菜の収穫、草刈りなどの作業をお手伝い内容として募集された事例があります。

詳細はこちら▼



おてつたび
ホームページ



江里山で出会った
今月の一枚

▶▶ びっしり生えたヒエ

活動中に印象に残ったものを

“江里山で出会った一枚”

としてご紹介します。

【コメント🗨️】

田んぼに生えた“ヒエ”を取り除く作業を経験しました。作業後には腰が痛くなり、翌日は筋肉痛と、また一つ、稲作の大変さを実感しました。

